

# 城山エコミュージアム通信

平成31年（2019年）1. 15 第35号



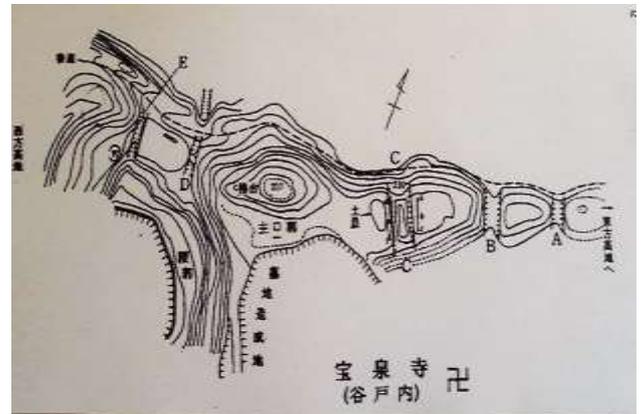
エコミュージアムとは、エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）を合わせた造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。相模原市城山エコミュージアムは、地域住民主体の活動により資料収集・調査等を行い、資料を現地において保存し、展示し、広く活用することを目的として活動しています。

## 平成30年度 城山エコミュージアムツアーの紹介

# 小松城 伝説の里を歩く



小松城跡（宝泉寺）1975年撮影（昭和50年・墓地造



小松城主要郭実測図 1985年（昭和60年・墓地造成後

<出典：城山町史1資料編・古代・中世>

相模野台地<sup>①</sup>が西の端に終わり、関東山地が始まる所に小松谷戸<sup>②</sup>があります。この地には中世の山城と伝えられる小松城跡があります。

当時の資料はあまりありませんが、江戸時代以降に残された幾つかの資料や、この地に古くから語り継がれる古老伝説、城に関係すると思われる地名などを中心に紹介して歩きました。

コースには豊かな自然や動植物、文化財などがありますが、当日は直前に来襲した台風による

訪ね、市の指定文化財や、小松城にかんする伝承などを紹介し、最後に地元の語り部から小松地域に残る伝説やかたくりの里に関するお話を聞きました。

今回のツアーでは、自然の猛威に驚くと共に、小松城をはじめ、昔からの伝説が語り継がれるのどかな里山を満喫したツアーとなりました。

倒木被害などため現地までは行けず、近くの高台から遠望しました。

また、城山湖では発電所の点検のために10年ぶりに水が抜かれ、湖底がむきだしになった珍しい姿に遭遇しました。

帰路は、小松山沿いにある谷戸を紹介しながら平安末期の創建とされる「宝泉寺」（真言宗）を

（塩谷 弘道）



### 今回のトピックス

- ◆ エコミュージアムツアー報告
- ◆ 城山検定
- ◆ ミニ図鑑 ◆ 学習会報告
- ◆ お知らせ 城山エコミュージアムのつどい

平成30年10月6日(土)開催  
 城山エコミュージアムツアー～小松城 伝説の里を歩く～  
 活動レポート&コース紹介

⑥龍籠山大パノラマ (水を抜いた城山湖)



⑤金刀比羅宮 (台風でご神木のヒノキが倒れてしまった)



相模原市 (旧城山町小松地区)

④評議原



小松城落城にあたり武将たちが評議したという伝承がある。現在は、紅葉の名所。

③小松城 跡



宝泉寺の裏山。室町時代から戦国時代初期の山城と推定されている。

②金刀比羅宮参道入り口 おさき



小松城への入り口、追手先が変化した。

行程

- ①⑬城山公民館
- ②金刀比羅宮参道入り口
- ③小松城跡
- ④評議原
- ⑤金刀比羅宮
- ⑥龍籠山大パノラマ
- ⑦コミュニティ広場
- ⑧やな川
- ⑨宝泉寺
- ⑩自然の家
- ⑪かたくりの里
- ⑫小野谷戸

⑨宝泉寺

石灯笼や、板碑、五輪塔、宝篋印塔等の説明。宝泉寺には中世の石造物が多く残されている。



⑪かたくりの里 (地元の方の話)



小松城の門神といわれる矢大神社

⑫小野谷戸 (葎が茂る湿地)



小野小町の伝説が残っている。

～出版物の紹介～

城山エコミュージアム委員会で活躍している樋口孝治氏が、今年7月に、「写真に見る久保沢のむかし昔」と題する著書を出版しました。ご自分の生まれ育った久保沢の地を中心に写真や人々のエピソードなど生き生きと著しています。

(この本は相模原市立城山公民館図書室で閲覧できます。)



宝泉寺にて、記念撮影



知ってナットク!  
 しろやま

城山検定



問題

この写真は津久井湖北面山上の地下に設置された城山発電所の内部の画像ですが、発電有効落差はおよそ何mぐらいでしょうか? (発電有効落差とは:湖面から発電機の水車までの高さから配管損失などを引いた高さのこと)

上記ツアー画像⑥の右側の写真が城山湖。左手の堤防の下側に発電所があります。(出題者:田中 次雄)

- ①50m    ②150m    ③250m

活動レポート



※9月5日(水)  
 東京家政学院大学学芸員課程  
 館外実習ガイドツアー

「境川源流域と原宿用水跡をたどる」  
 大学生13名、先生2名とスタッフで円林寺、八木重吉記念館、広田、下馬梅、川尻八幡宮、原宿用水跡を歩きエコミュージアムの活動について勉強しました。今年度は見やすいコース図を入れた資料を作りました。



※11月17・18日(土・日)  
 学びの収穫祭 に参加  
 (相模原市立博物館主催)

10月6日に開催した城山エコミュージアムツアーについて展示。また、金子直美さんが、口頭発表をしました。



※定例会にて・学習会の記録

- 5月:津久井城主 内藤氏について
- 6月:十干・十二支・年号について
- 7月:雄龍籠山・大パノラマ
- 8月:未成線(城山に来なかった鉄道)
- 9月:八木重吉について
- 10月:医師 養老静江について
- 11月:小松薬師堂のお籠り
- 12月:谷ヶ原・都井沢の簡易水道  
 (毎月1回、定例会の前に委員による学習会を行っています。)

## INFOMATION



### 城山エコミュージアムのつどい

- 日 時 平成31年2月10日(日)  
13:30~16:00
- 場 所 城山公民館 2階大会議室
- 内 容 ① 城山エコミュージアムの活動・報告  
事例紹介：小松城跡・伝説の里を歩く  
② 特別講演

講演テーマ

### 「丹沢衝突 !! 南からきた海底火山」

どのようにして丹沢ができたのでしょうか?!

講 師：河尻 清和 氏 (相模原市立博物館・学芸員)

希望者は当日会場にお越しください。

※ 問合せ先 城山公民館 ☎783-8194



答え： ②150m

城山発電所は神奈川県企業庁が津久井湖の水を南面の山上に築造した城山湖に揚水して発電を行う形式の日本初の大規模な純揚水式発電所です。

電力消費が少ない夜間電力で揚水し、昼間電力消費が増え発電能力が不足した時に稼働してピーク電力を緩和するのが役割です。

昭和40年10月から稼働し、東京オリンピック後の高度経済成長期の電力需要を支える大きな役割を果たしました。最大出力250,000Kwです。(田中 次雄)



## <タマゴダケ>



今年は城山湖の周辺や金刀比羅宮参道でタマゴダケがたくさん見られました。タマゴダケは最初、白い膜に覆われタマゴそっくりですが、やがて袋の頭頂部が裂け、赤いカサとだんだら模様の柄が伸び、袋は根元にツボとして残ります。

カサの朱赤色は光沢がありハットするほど鮮やかです。

タマゴダケはサクサクした食感の美味しいきのこで、バター焼きやホイル焼きなどに向いています。熱が加わると、赤い傘は茶色になります。

(多羽田 啓

子)

### 編集 後記

「今年のツアーは、中世の小松地域を想像しながら秋晴れの中を歩きましたが、大型台風の爪痕が至る所にあったことが印象的でした。記事に表現できていれば嬉しいのですが。

(田畑 房枝)

企画/作成：

相模原市立城山公民館城山エコミュージアム委員会

発行：相模原市立城山公民館

TEL：042-783-8194【直通】

FAX：042-783-1721

ホームページをパソコンで見るとは

相模原市 城山エコミュージアム

検索



相模原市立城山公民館ホームページ <http://www.sagami-hara-kng.ed.jp/kuumin/siroyama-k/index.html>

